

# 旅立ち

大切な第一歩を共に



美しい季節の始まる四月。

この四月から新しい年度がはじまりました。

四季のある日本では、春となると同時に南から北へと桜が誇(ほこ)らしげに力強く咲きはじめます。

天候・気候のみならず不測の事態が多発する最近では、世界情勢も予期出来なくなっています。

今年もこのピカピカの新年度から、新しい13名の奨学生が仲間に加わりました。

この新しく力強い仲間と共に誇りを持って前に進みましょう。

2023年4月吉日

代表理事 黒澤 厚

## 地域復興支援事業【今年度実施予定】

過去5回福島県伊達市にて実施してまいりました、地元の果物を活用したお菓子セミナーですが、今年度から地元農家の方に更なるご協力をいただき、従来のお菓子教室に加え、果物の生産と加工に触れていただく体験教室を含めたものにしていきたいと思っております。

体験教室としての初回は、第一回セミナーでご協力いただきました、伊達市霊山町の松葉園様にお邪魔をして、実際の収穫の様子や、ジャム・乾燥いちごといった加工品の製造現場を見学させていただく予定です。

5月中旬の開催を予定しておりますので、詳細に関しましては改めてHP等でご案内をさせていただきます。



【第7回】

東北大学大学院にご進学され、更なる研究に従事されている第5期生の東海林紬さんと、指導教諭の田口友彦先生からメッセージをいただきました。

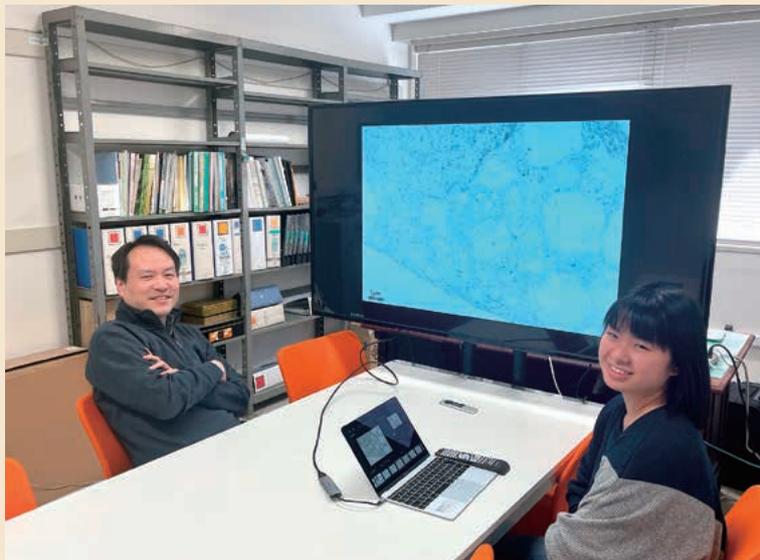
**東海林 紬様** 東北大学理学部生物学科

大学の専門課程において広く生物学を学ぶ中で、それぞれのタンパク質が適切な場所へと輸送されることでその機能を発揮できることを知り、細胞内物質輸送に関心を持ちました。

現在は、がんや自己免疫疾患、そしてCOVID-19の感染防御にも関わる自然免疫分子・STINGの活性が細胞内局在変化によって制御されることに興味を持って研究をしています。

春からは大学院に進学し、研究を継続できることが決定しております。大学で学業に集中して取り組むことができたこと、そして大学院進学という目標を達成することができたのは、貴財団のご支援があってこそだと心から感謝しております。

大学院進学後は分子細胞生物学の専門知識を基盤として、他分野の知識も幅広く習得しつつ、最先端のテクノロジーを駆使して研究に邁進していく所存です。新たな実験系の開発や種々の疾患の発症機構の解明によって、人類の健康の増進や生活の質の向上に貢献していきたいと考えています。



**田口 友彦様** 東北大学大学院生命学科研究科教授

東海林さんは生命現象を細胞レベルで理解することに興味を抱いており、自然免疫を細胞生物学的な観点から理解することを目標としている私の研究室を志願し、学部3年生の後期から配属されました。

現在、東海林さんは「自然免疫分子STINGの分解を制御する分子機構の解明」というテーマで研究をすすめています。STINGの異常な活性化が多彩な自己炎症疾患・神経変性疾患を引き起こすことが明らかにされてきた今、STINGが細胞内でどのように分解制御を受けているのか理解することは、基礎生物学研究としての枠組みを越えて、医学・薬学領域にとっても重要なことです。

これまでの約1年間、精力的に実験をすすめ、STING分解を制御する重要な分子を同定、国際雑誌への投稿準備をはじめています。このように極めて順調に東海林さんが大学での研究生活を送ることができていることは、偏に貴財団のご支援があってこそだとここに心から感謝申し上げます。

## 財団からのお知らせ

この度、クロサワ育成財団では、READYFOR株式会社と連携し、同社の「遺贈寄附サポートサービス」の遺贈寄附先団体となることが決定致しました。

READYFOR株式会社は2014年にクラウドファンディングサービスを提供する企業として創業し、数々の新聞・TV・雑誌などのメディアに取り上げられ、これまでに約2万件の社会活動を支援してきた企業です。(2021年より「遺贈寄附サポートサービス」を開始。)

遺贈寄附サポートは、READYFOR株式会社が提供している、遺贈寄附・生前寄附の寄附検討者と社会的団体とのマッチングや包括的なサポートを行うサービスです。

遺贈によるご寄附や相続財産のご寄附に関して、ご質問・ご相談がございましたら以下宛先までご連絡ください。



### 【レディーフォー (READYFOR) 遺贈寄附サポート】

URL : <https://izo.readyfor.jp/>

TEL : 0120-948-313 (受付時間 平日10時~17時)



### 美しい言葉

No. 7

## 緑樹重陰

りよくじゅちょういん 唐・王維 (緑樹重陰・蓋四鄰)

通解

緑の木々が重なりあい、あたりをおおって薄暗いの謂です。

王維が崔處子の林亭に赴いて木々が重なり、青い苔の重なり見て詠じたものです。



公益財団法人 クロサワ育成財団 事務局：丹治 (たんじ)

〒104-0045 東京都中央区築地6-25-10 築地センタービル4階

TEL: 03-6281-5140 FAX: 03-6281-5141 URL: <https://www.kuroswwfound.or.jp/>

月曜~金曜 午前9時~午後6時 ※年末・年始、祝日、当財団休日を除く

